

各 位

会 社 名 株式会社 K G 情報
代 表 者 名 代表取締役社長 益田 武美
(J A S D A Q ・ コード 2408)
問 合 せ 先 岡山県岡山市平田 170-108
役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長
三上 芳久
電 話 086 - 241 - 5522

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において、下記のとおり特別損失が発生しますので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績等の動向を踏まえ、平成19年2月1日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 特別損失の発生及びその内容

- (1) 当社の連結子会社 CHINA KG INTELLIGENCE COMPANY LIMITED (以下、中国 K G といいます。) の完全子会社である上海楷進商務咨询有限公司 (連結子会社) の業績が当初計画を下回っているため、その評価をより厳格に行い平成 19 年中間期個別決算において子会社株式評価損 1 億 2 千 8 百万円を特別損失として計上することといたします。
- (2) 同様の理由により、平成 19 年中間期個別決算において中国 K G への貸付金 6 千万円に対し 3 千万円の貸倒引当金を計上 (特別損失) いたします。

なお、上記につきましては連結決算への影響はありません。

2. 平成 19 年 12 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 18 年 12 月 21 日 ~ 平成 19 年 6 月 20 日)

(単位: 百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	2,617	323	160
今回修正 (B)	2,583	432	233
増減額 (B - A)	33	109	72
増減率	1.3%	33.8%	45.4%

(2) 修正理由

営業収益は、2,583 百万円 (対前环比 33 百万円、1.3%) となる見込みであります。事業部門別では、求人関連情報は既に進めていたアルバイト・パート専門求人誌から総合求人誌への移行に加え、前会計年度に東広島エリアで第 1 版を創刊した折り込み型求人フリーペーパーの岡山市・倉敷市エリア及び広島市エリアでの創刊等により、当初予想を若干上回る状況で推移しております。ライフ関連情報では、徳島県にエリア拡大したブライダル関連情報や釣り関連情報は順調に推移しておりますが、賃貸ソフトやインターネット関連事業の拡大を計画していた住宅関連情報は、計画のずれ込みにより当初予想を下回る見込みであります。また、クーポンインフリーペーパーは国内既存エリアでは好調であるもの、予定していた関東での創刊が下半期にずれ込んだこと及び中国の伸び悩み等により当初予想を僅かに下回る見込みであります。その他の事業につきましては、フリーペーパー共同配送事業が順調に推移したこと等により当初予想を上回る見込みであります。

経常利益及び中間純利益につきましては、材料費等の印刷に係る原価を抑制したことや従業員の採用実績が計画を下回ったことにより人件費が当初予想より減少したこと等により、それぞれ 432 百万円 (対前环比 109 百万円増)、233 百万円 (対前环比 72 百万円増) となる見込みであります。



(3) 通期(平成18年12月21日～平成19年12月20日)

(単位:百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	5,614	898	467
今回修正(B)	5,539	924	509
増減額(B-A)	74	25	42
増減率	1.3%	2.9%	9.1%

(4) 修正理由

市場環境等に大きな変革はないものと予想されるため、下半期も上半期とほぼ同様の状況で推移するものと見込んでおりますが、上半期に創刊した折り込み型求人フリーペーパーや住宅関連情報に係る新規事業の成長、各情報誌やWEBサイトで随時進めているリニューアルやクーポンインフリーペーパーの新規発行などにより、各事業部門の営業収益は上半期と比較して上昇傾向で推移するものと見込んでおりますが、通期では前回予想を僅かに下回り5,539百万円になるものと予想しております。

営業費用につきましては、引き続き抑制に努めてまいりますが、当社の主たる原材料である印刷用紙が大幅に値上がりすること、新規創刊に係る広告宣伝費及び次年度以降に計画している新規エリア進出のための事業所の開設準備並びに人員の確保等により、下半期には当初予想を若干上回って推移するものと見込んでおり、経常利益及び当期純利益はそれぞれ924百万円、509百万円と予想しております。

(5) ご参考:前期の実績(平成17年12月21日～平成18年12月20日)

(単位:百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	当期純利益
中間期(12/21～6/20)	2,237	348	166
通期(12/21～12/20)	4,702	838	445

3.平成19年12月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成18年12月21日～平成19年6月20日)

(単位:百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	2,550	354	191
今回修正(B)	2,517	469	117
増減額(B-A)	33	115	73
増減率	1.3%	32.5%	38.6%

(2) 修正理由

営業収益は2,517百万円(対前回比33百万円減)、経常利益は469百万円(対前回比115百万円増)、中間純利益は117百万円(対前回比73百万円増)となる見込であります。

なお、営業収益及び経常利益の修正理由につきましては、連結業績予想のとおりであります。なお、中間純利益につきましては、連結業績予想に記載した内容に加え、上記1.に記載した特別損失の計上に係る影響によるものであります。

(3) 通期(平成18年12月21日～平成19年12月20日)

(単位:百万円 百万円未満切捨て表示)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	5,445	939	507
今回修正(B)	5,381	982	396
増減額(B-A)	64	43	110
増減率	1.2%	4.6%	21.7%

(4) 修正の理由

営業収益は、対前回比64百万円減の5,381百万円とし、経常利益及び当期純利益はそれぞれ982百万円、396百万円を見込んでおります。

なお、営業収益及び経常利益の修正理由につきましては、連結業績予想のとおりであります。なお、当期純利



益につきましては、連結業績予想に記載した内容に加え、上記1.に記載した特別損失の計上に係る影響によるものであります。

(5) ご参考：前期の実績（平成17年12月21日～平成18年12月20日）

（単位：百万円 百万円未満切捨て表示）

	営業収益	経常利益	当期純利益
中間期（12/21～6/20）	2,145	361	186
通期（12/21～12/20）	4,537	877	492

以 上

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。